

令和3年



日貫公民館だより

島根県邑智郡邑南町

日貫 1168 番地

TEL (0855)97-0902

IP 050-5207-2000

クリスマスコンサート in HINUI



12月11日（土）に日貫公民館の体育館にて、「クリスマスコンサート」を日貫地区別戦略事業との共催で行いました。コロナ禍でイベントができなかったのですが、マスクの着用、消毒、検温と感染予防もしっかりと行いすることができました。音楽の活動場所を求めて、浜田、江津に1ターンで来られた3名の若手演奏家によるトランペット、サックス、打楽器のアンサンブルで、曲目は「炎」「にじ」「情熱大陸」などを聴きましたが、迫力もあり生演奏でしか感じられない音色は素晴らしいかったです。観客の中から飛び入り参加や最後の体験コーナーではドラムを叩いたり、楽器に触れることもできました。

地域学校そば打ち体験

8月にソバの実を蒔いて大きく育ち、11月にソバを収穫し、12月11日（土）にそば打ち体験をしました。講師は、東国雄さんたちで、小学生、中学生、地域の方とそば粉から丸めて伸ばし、切るところまで、手取足取り教えてもらい、そして自分たちで打ったそばをおいしく味わいました。



3B体操

12月14日（火）に日本3B体操協会公認指導者の日高泉さんを講師にお迎えし、3B体操を行いました。3Bはボール、ベル、ベルターという3つのBのつく用具を使いながら、曲にあわせてからだを動かします。日頃使わないところを無理なく伸ばしたりしながら、楽しみました。



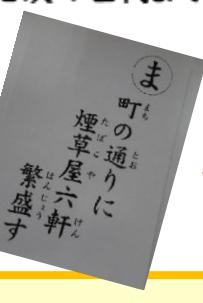
辻聰志さん毎日新聞農業記録賞の一般部門で最優秀賞受賞!!

町第三の辻聰志さんが毎日新聞農業記録賞の一般部門で最優秀賞を受賞されました。この賞は農や食、農にかかわる環境への想いや体験の記録を3000～3200字程度にまとめて応募し地区審査、中央審査と厳しい審査を受けて選ばれたものです。辻さんおめでとうございます！



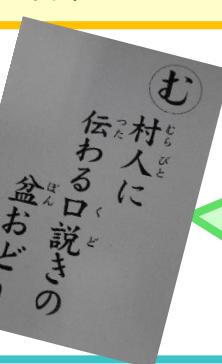
日貫の歴史

を次の世代まで受け継いでいくために、日貫「ふるさとカルタ」をご紹介します。



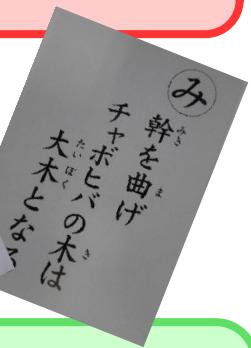
昭和のはじめ頃、第二次世界大戦の始まる前まで、登記所もあり多くの宿屋・商店などで繁栄していた。金比羅山の下から現在の駐在所までの百メートルの間に煙草屋が6軒あった。

鉱の関係だったのか炭焼き人口が多く、上質な炭を産出していた田代集落はわずか2戸になった。その1戸、鉱で資産を築いた田形家の庭には、珍しい盆栽用のチャボヒバが年月を経て大木となっている。(現在は切られていてみることはできません)



旧暦の7月15日に行われていた盆踊りが、現在は8月15日に実施されている。口説(くどき)とよばれる唄を何人かで交代で歌い、踊り手が合いの手を入れる。日貫の口説は太鼓などの囃子がなく、歌い手が傘を持って歌うのが特徴である。

明治24年(1891)5月校舎が全焼した。25年4月小学校令改正、尋常簡易の制を廃し、日貫村尋常小学校と改称する。そして、本校を宝光寺に、字吉原(森岡彦太宅)、字福原(市の曾根)、字山之内(高橋藤重宅)に分校を置く。29年校舎を温齊(現在新井伸雄宅)に移し分校を廃止する。



【作成:日貫の歴史を伝承する会】

～日貫の出来事～

改良整備路線に向け格上げ決定！

「県道日貫川本線の一時も早い改良の実現を！」横断幕設置

日貫地区県道改良推進協議会が5年前から島根県並びに邑南町に対して要望していました、県道日貫川本線の改良実現を目指す運動が実を結び、生活関連道線として格上げをすることになりました。一刻も早い改良実現の機運を高めるために、11月23日に県道協役員にて横断幕の設置が行われました。



日貫ふるさとフォトコンテスト

日貫の美しい自然、風景を再認識するために、日貫ふるさとフォトコンテストを行います。スマートフォンやカメラで撮った写真をお待ちしております！

募集期間 2月末まで

お問い合わせは 日貫公民館まで



令和3年11月末現在

日貫地区(人口と世帯数)

男 201人(+1人)

女 234人(-1人)

合計 435人(±0人)

世帯数 204世帯(-1戸)

高齢者比率 53.10%

* ()内は前月比



*写真を撮影し公民館だよりなどで使用することができます。

12・1月の予定

12/27日(月) お花教室

28日(火) 仕事納め

1/1日(土) 新年互礼会

3日(月) R2年度成人式

4日(火) 仕事始め

8日(月) 消防出初式

9日(日) R3年度成人式

19日(水) 食育の日

毎週火曜日運動教室

